

R7年度 ファミサポ講習会報告

かどまファミリー・サポート・センターでは、地域での子育てのお手伝いをしてくださる協力会員さんを募集するとともに、子育て及び子育て支援に関する学びの場を提供するため、6月から11月にかけて6回講習会を開催しました。

講習会では、日本赤十字社による「一次救命救急処置」「事故の予防と応急手当」、市の栄養士による「食の大切さ」、小児科医による「小児によくある病気とその対応」、発達支援センターより「子どもの発達」、保健師による「虐待」、保育士による「子どもの遊びとこころ」、警察より「交通安全」等他・・・について12講座学びました。

昨年度から受講されて途中で修了された方を含め計4名の方が協力会員に登録されました。

赤十字による心肺蘇生法の実技



AED 人形を使って練習しています



栄養士より おやつについて＝子どもは生命を維持するために、成長するために必要！

2012年にワクチンの接種がスタートし、かなりたくさんの子どもの命が救われている・・・

ドクターより



発熱の場合熱の記録がとても重要である。1日に2～3回検温し医者に伝える。熱があっても・食べる・眠る・遊ぶができていたら元気に向かう

保健師による虐待について



保育士によるからだ・心・遊びで育つ子どもたち



絵本・手作りおもちゃ紹介



協力会員になりたいと思った動機

昨年末迄、会社勤めしておりましたが、共働きの後輩たちを見ていて大変さを知り少しでも役に立てることがあればと思いました

自分の子どもが小学生になり少し余裕ができたのでこんな私でもお母さん達の役にたてる事があればと思い申し込しました

子どもの発達について 発達支援センターより 見えない障害について・心の発達と保育者の関わり、障害の特性と保育について学びました

交通安全 門真警察によるお話



自転車の交通違反「青色切符」・門真の子どもの犯罪・防犯の話聞きました

かどまファミリー・サポート・センター
電話：072-882-0123
場所：門真市市民プラザ1階

